

質 問 書

※ この MS-WORD 文書のまま送付お願いいたします。(PDF 等のフォーマットへ変換しないでください)

2020 年 10 月 27 日

「(案件名) ケニア国都市給水分野における資金協力有効活用のための情報収集・確認調査(QCBS)」
(公示日:2020 年 10 月 7 日/公示番号:20a00573)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	第 3 章プロポーザルに係る留意事項 2. 業務実施上の条件 (3)現地再委託	仕様書の P20 に、本業務では「現地再委託は想定しておりません」と記載がありますが、P14 の「特殊傭人、補強、共同企業体によるローカルリソースの活用」が認められているように、現地再委託もご検討願えますでしょうか。コロナ下の状況において、現地再委託を採用することにより、より効率的に調査を行えると考えます。	ご指摘いただいた事項に関し、以下の業務については、現地再委託を認めることとします。 【現地再委託の対象として追加する業務】 1. 国内作業及び現地調査時におけるケニア国内での調査・面談等の支援・調整業務 上に指定する業務以外は、現地再委託は想定しておらず、14 ページの「特殊傭人、補強、共同企業体によるローカルリソースの活用」の脚注にあるとおり、以下の方法等を活用して提案願います。 (1) 特殊傭人費(一般業務費)を活用した、ローカルリソース(主に個人)を活用する。 (2) ローカルリソース(個人。法人に所属する個人を含む。)を業務従事者として配置する。補強として配置する場合、全業務従事者4分の3までを目途として認めます(第3章「3. 業務従事者の条件」参照)。 (3) ローカルリソース(法人)を共同企業体構成員とする。共同企業体構成員の場合、我が国に

			おける法人登記及び全省庁統一資格を要件としません(第1章「5. 競争参加資格」参照)。
2	第2章特記仕様書案 4.調査実施上の留意事項 (6)新型コロナウイルス対応	仕様書のP14において、「地方部での調査については、より効果・効率的な調査の提案があれば、プロポーザルで提案してください。」「ローカルリソースの活用方法」についての記述がありますが、提案内容によっては金額が大きく異なり競争に影響を及ぼすことから、別見積としての計上についてご検討願えますでしょうか。	<p>企画競争説明書2ページにあるとおり、本件業務の発注においては、「競争参加者が提出する技術提案書に基づき、その企画、技術の提案、競争参加者の能力等を総合的に評価した技術評価点と、同じく競争参加者が提出する見積書の見積額に基づいた価格評価点の総合点により評価・選定を行うことにより、当機構にとって最も有利な契約相手方を選定」するQCBS方式を採用しています。</p> <p>価格競争が加味されることで、金額が著しく高額となる提案がしづらいことは承知していますが、「ローカルリソースの活用について」必要となる金額につき、別見積もりとはせず、技術と価格(見積)の両方に配慮した提案をいただきたくよろしくお願いします。</p> <p>なお、ご案内のとおり、QCBS方式の選定は総合評価落札方式で設定されている落札者の決定方法(入札価格が機構により作成された予定価格の制限の範囲内であること)とは異なり、入札価格が予定価格の制限の範囲内である必要はありません。</p>
3	第2章特記仕様書案 5.調査内容	仕様書の調査内容に、「資金調達」、「資金動員」の記述がありますが、想定されている各役割の分担についてご教示いただけますでしょうか	「資金調達」担当の役割はWSPが融資・出資による資金調達を行うシナリオを検討するために必要な調査・分析を行うことで、具体的には、公

		か。	<p>的資金・民間資金及び調達メカニズム・条件・制約の確認、市場資本動向の把握等です。調査手法としては、各種情報源からの情報入手・分析や金融機関、投融資機関等、ファンド機関を対象としたヒアリング等を想定しています。</p> <p>「資金動員」担当の役割は主に PPP 等を通じ、WSP が外部資金の動員を図るシナリオを検討するために必要な調査・分析を行うことで、具体的には PPP 法規制や PPP の動向、関心企業等の調査、PPP 事業例等の確認を想定しています。</p> <p>なお、いずれの分野においても、国内外の事例分析や省庁・WSP・国際機関・ドナー等を対象とした担当分野に係る調査、他団員が調査する担当分野に関連する分野への側面支援を行うことを想定しています。</p>

以上